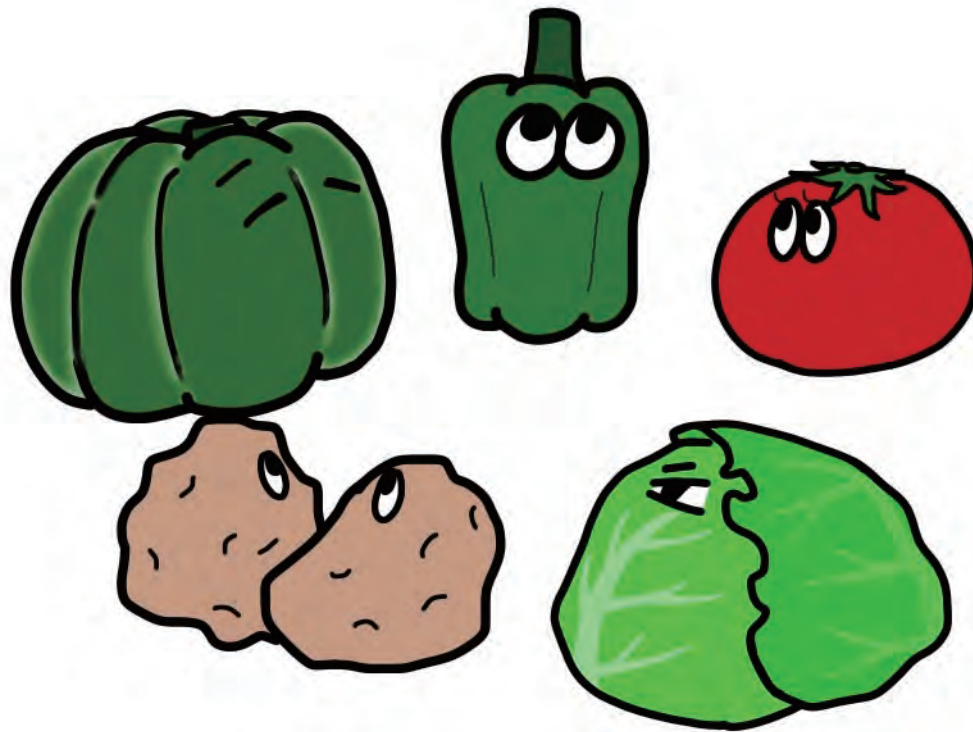


やさいのようせいさん

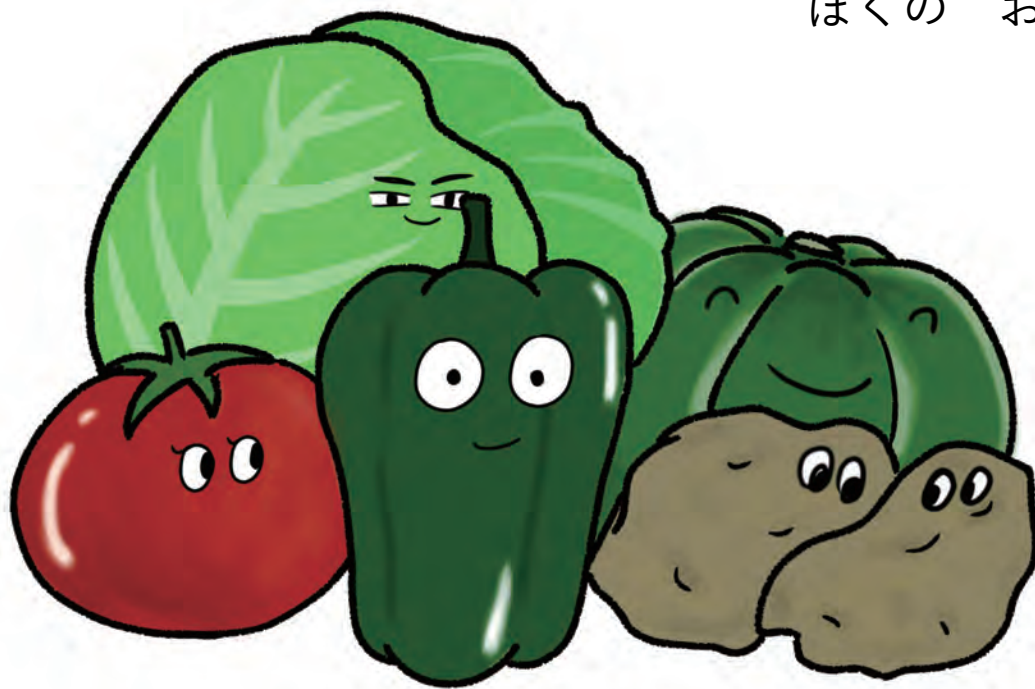


やあ、ぼくはピーマン。
え？ どこにいるかって？
ここだよ ここ。



みんなは

ぼくの おともだちさ





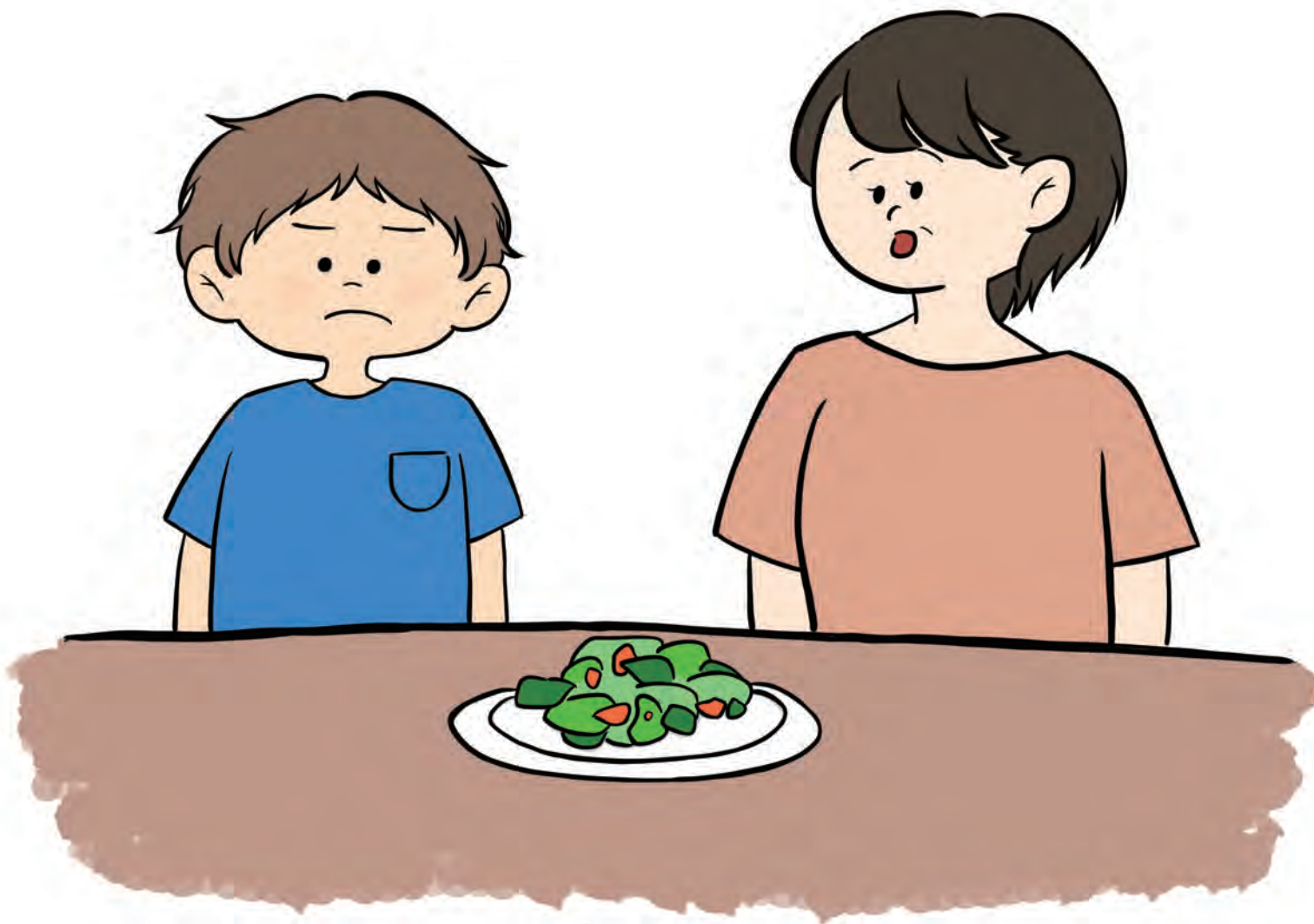
アキくんは
ぼくたち おやさいのことが
だいきらいなんだ



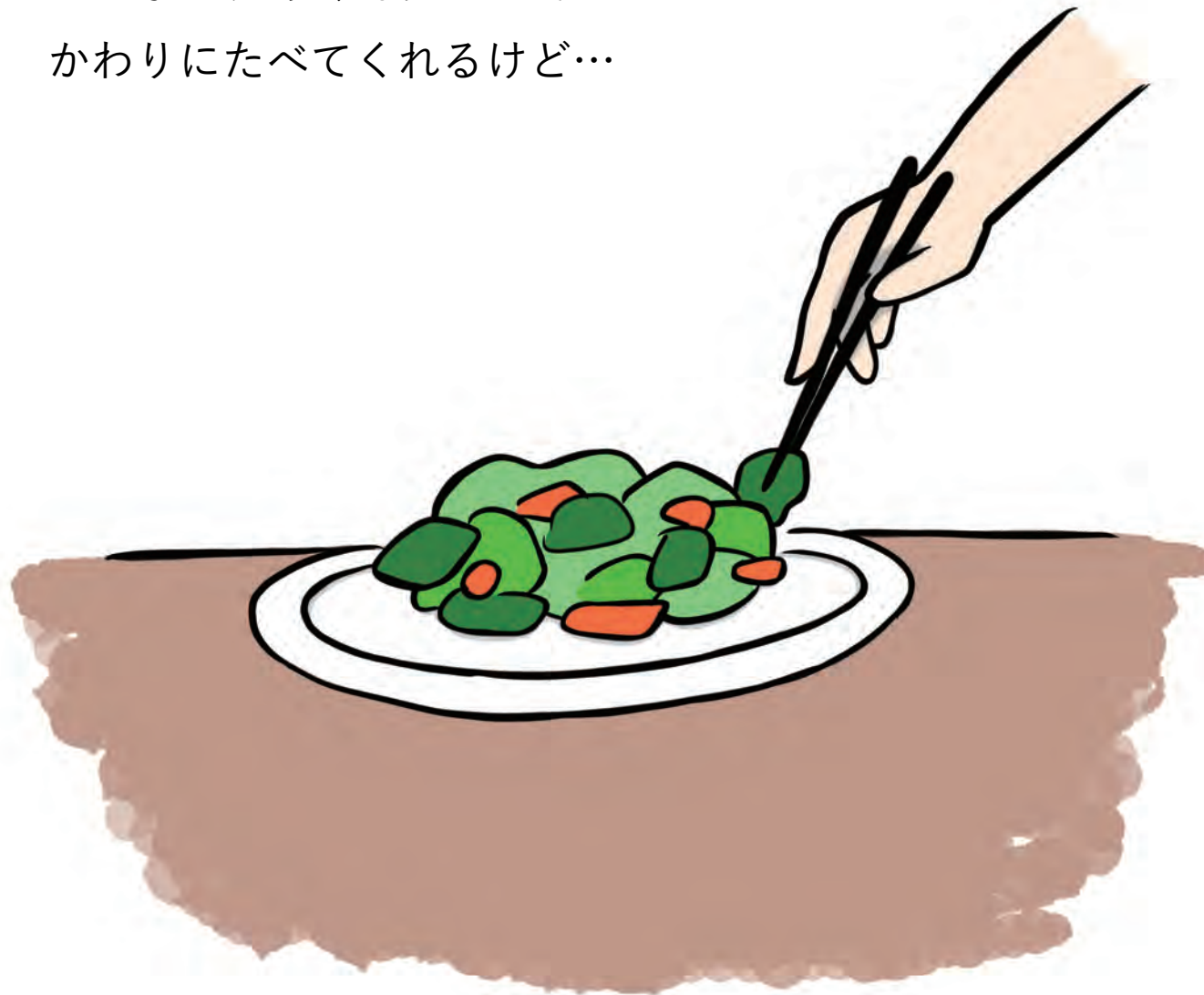
ぼくはたちは たべてほしいのに
アキくんは いつものこしちゃう



「あら、またのこしちゃったの？」



「しょうがないわねえ」と
ママが アキくんについて
かわりにたべてくれるけど…



やっぱり ぼくたちは
アキくんに たべてほしい



そんなあるひ。

アキくんになんとかげんきがありません。



アキくんには
ぼくたちの ちからが たりず
げんきが なくなっていたのです。



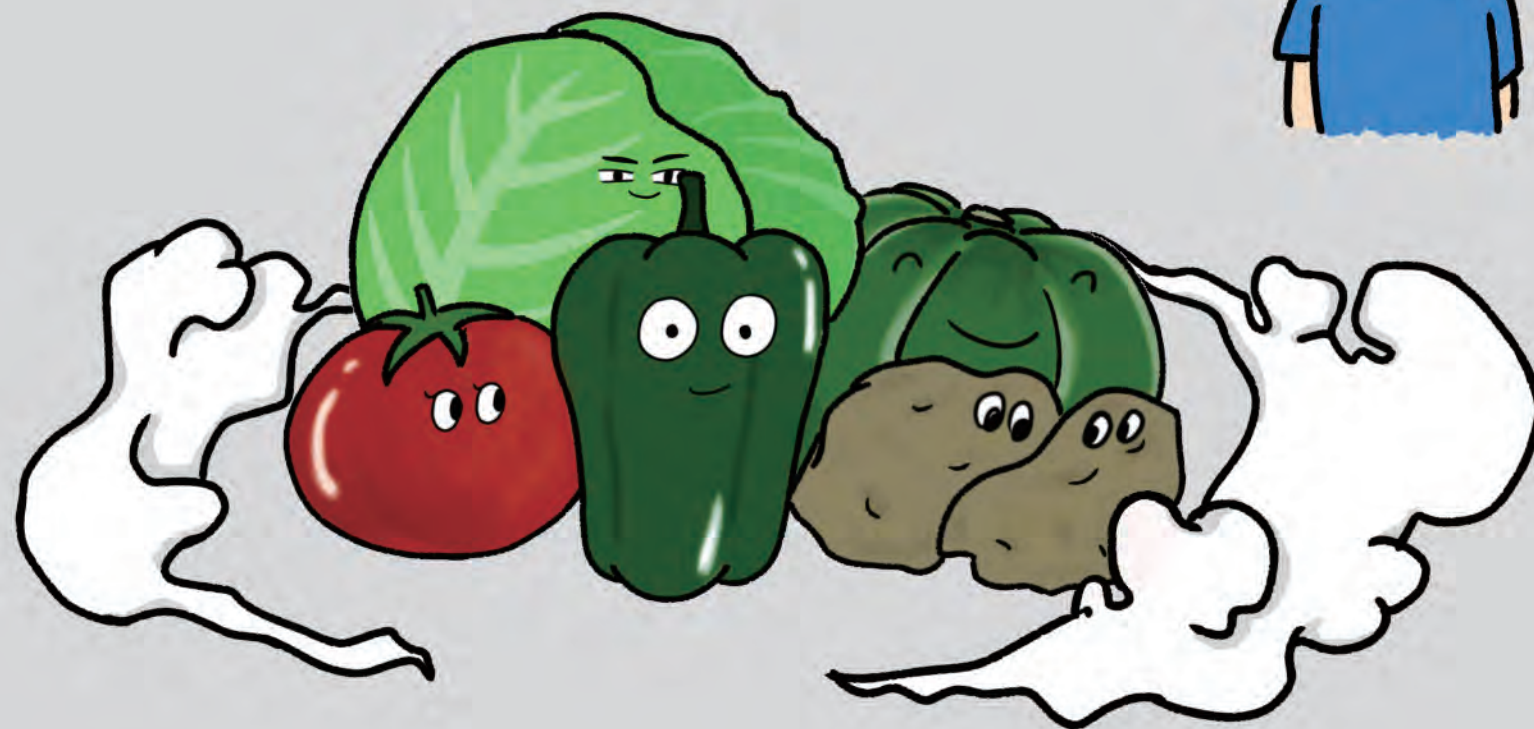
このままじゃいけない！

よーしっ



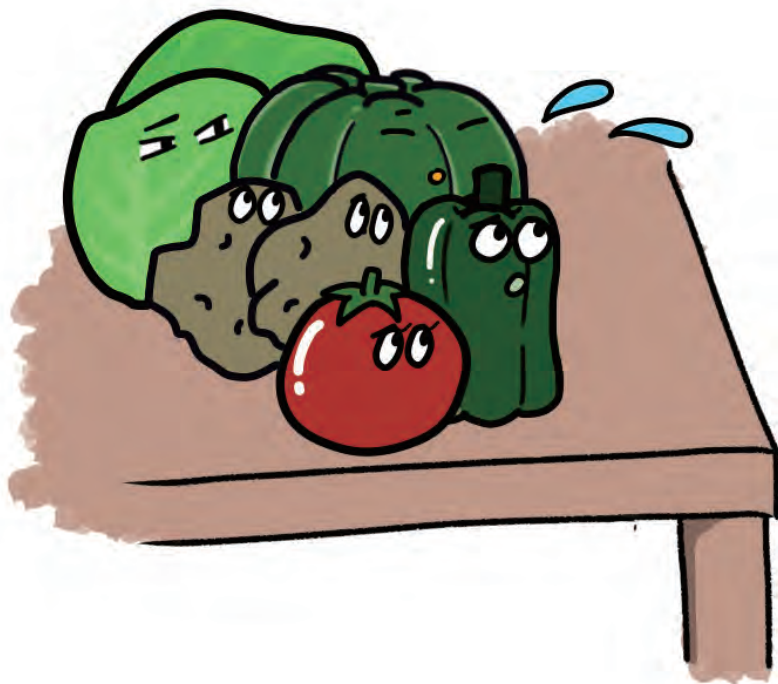
『やあ、アキくん!』

「え!？」



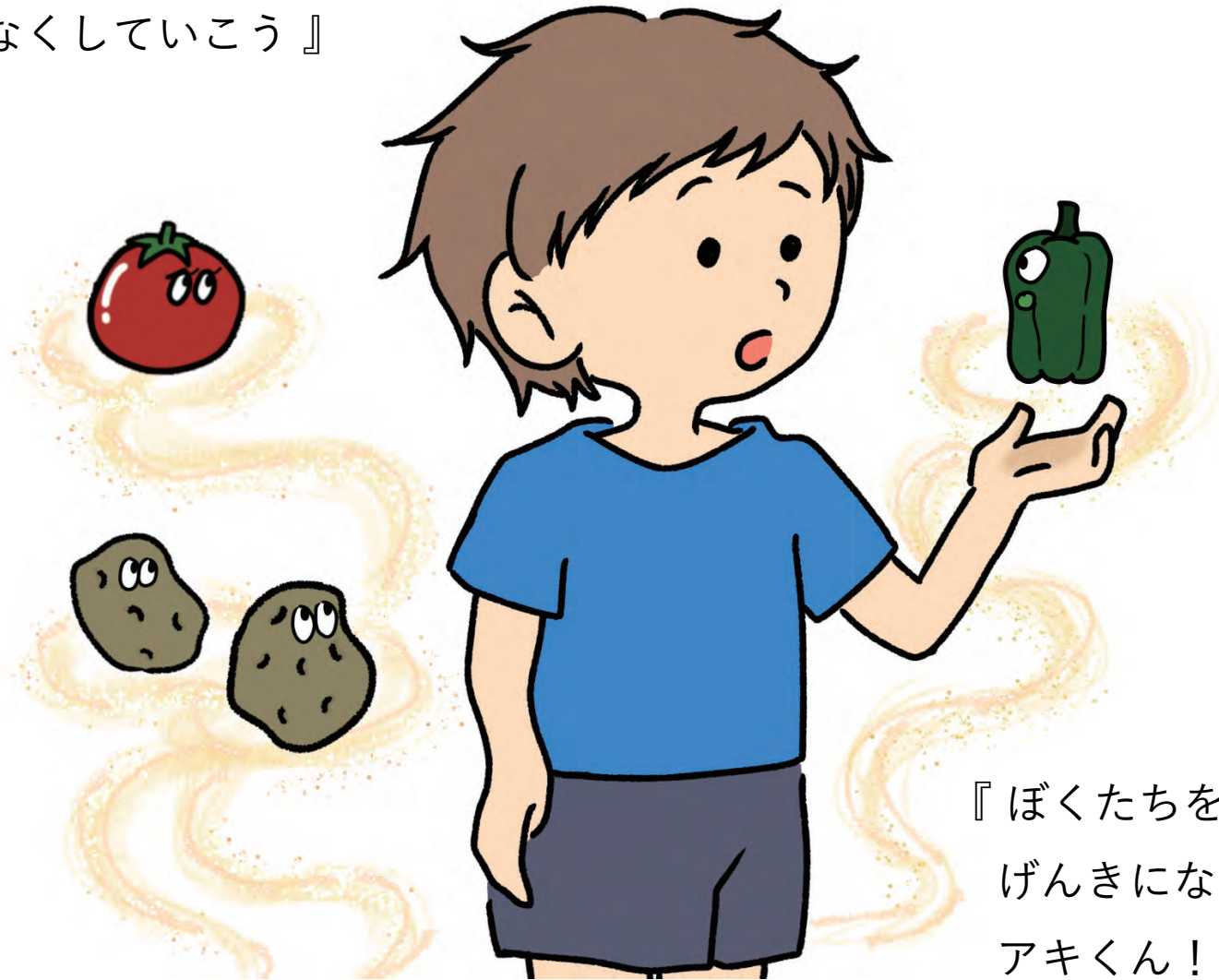
『アキくんに　いま　げんきがないのは
ぼくたちの　ちからが
たりてないからなんだ！』

「そうなの…？」



『ゆっくりでいいから

すこしずつ いっしょに すききらいを
なくしていこう』



『ぼくたちを いっぱいたべて
げんきになろう！！
アキくん！』

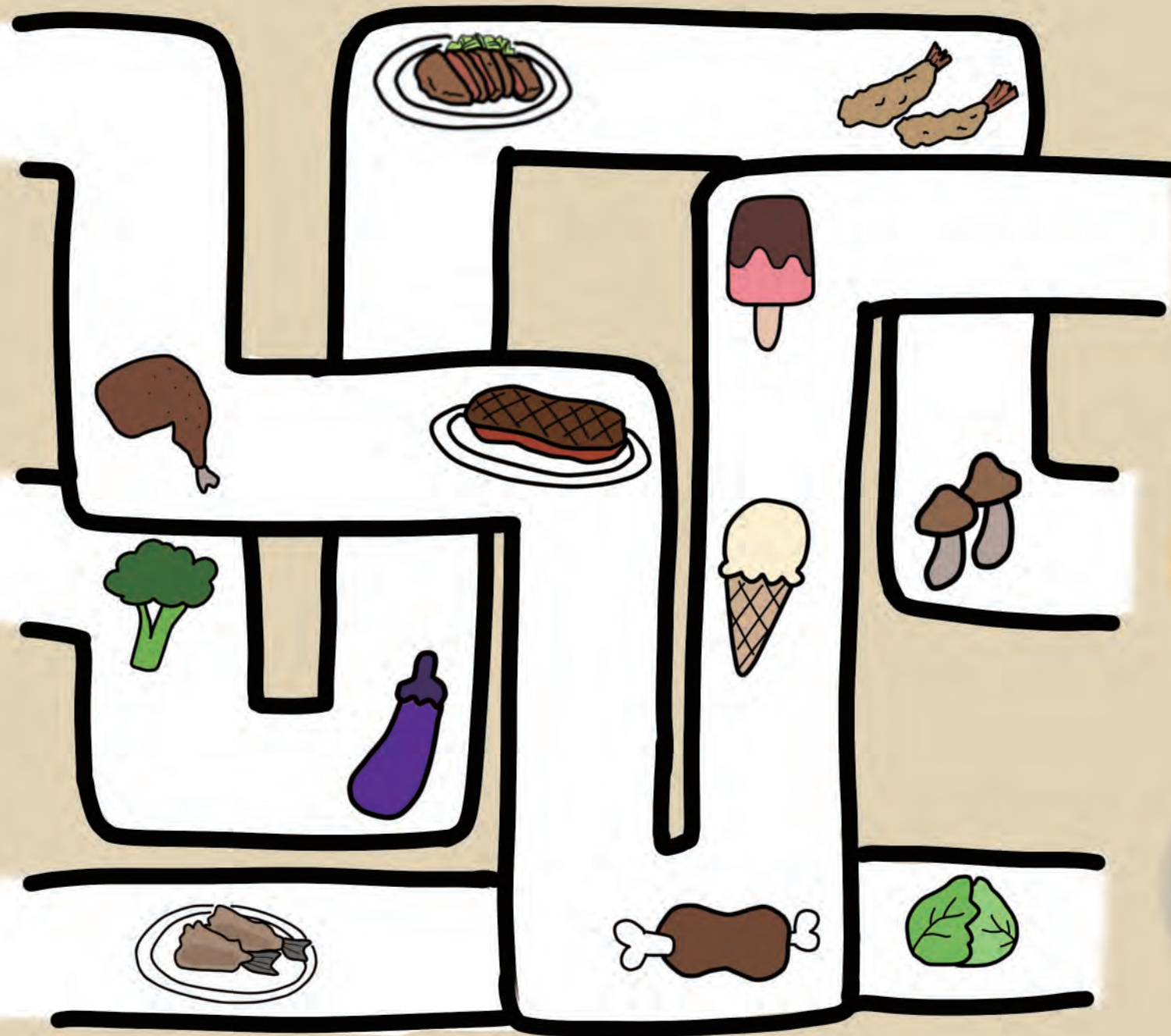


「うん！ がんばる」



アキくんを
げんきにしよう！





ざんねん。
もういつがい



せいこう!



ざんねん。
もういつがい



こうして アキくんは、
やさいを たくさん たべることで
げんきいっぱいになりましたとき。



むしゃむしゃ。
「やさい おいしい！」

おしまい